

# 岐阜県経営者協会 企業子宝率調査報告

1. 調査期間 平成 27 年 6 月～11 月
2. 対象企業 (一社)岐阜県経営者協会会員企業  
常用雇用者 10 人以上の企業 108 社 最高値 1.94
3. 調査結果 平均値 1.31 ※その他詳細な内容について添付資料の通り。

## I 目的

企業子宝率の結果を踏まえ、労使ともに有益な魅力ある職場環境づくりについて啓発活動を推進し、仕事と家庭の両立支援に取り組む企業を支援する。

## II 対象

- 合計特殊出生率の調査対象は・・・ 15歳～49歳の女性
- 企業子宝率の対象は・・・・・・・・ 15歳～59歳の従業員

## III 企業子宝率上位企業（15社）の特徴

アンケートより（複数回答）

### ○職場環境の状況

- ・男女を問わず、(子どもの病気や学校行事のために) 気兼ねなく休暇が取りやすい・・・ 12社
- ・急な休みに対応するため、現場のリーダーに休暇承認やローテーション変更などが任されている  
・・・ 6社

- ・長期勤続しやすく、居心地が良い …… 5社
- ・社内のコミュニケーションがとりやすい …… 5社
- ・残業や休日出勤がほとんどない …… 4社

### ○子育て中の従業員のための制度・・・運用実績

- ・育児休業は子が1歳になるまで …… 10社（最大期間1歳6ヶ月）
- ・育児時短勤務制度3歳まで・・・ 10社（最大期間小学校就学まで）
- ・子の看護休業制度 …… 7社（小学校就学まで）

### ○子の扶養手当 …… 9社（2千円～1万円）

### ○お子さんの病気などで従業員が急に休んだ場合、仕事をカバーできる工夫

- ・休暇者の業務を、現場のリーダーがカバーする …… 6社
- ・同じチームや部署の人員でカバー可能な人員配置（あるいは業務配分）になっている・・・ 5社

- 有給休暇以外に、配偶者の出産のための特別休暇
  - ・配偶者出産特別休暇 …… 5社（期間 1日～5日）
  - ・子の看護休暇 …… 1社（5日）
- 従業員が仕事と子育てを両立するために、重要な事
  - ・職場の管理監督者や同僚の理解、協力があること …… 8社
- 企業が仕事と子育てを両立するため課題
  - ・人員管理が難しい …… 9社

#### IV 企業子宝率とは（渥美由喜氏より）

企業子宝率とは、企業の従業員（男女を問わず）が、在職中に持つことが見込まれる子どもの数を算出した指標で、いわば合計特殊出生率の企業版です。

10年前に、私が考案し、2015年2月時点で、福井県、昨年度から静岡県、今年度は鳥取県、佐賀県、三重県、山梨県、大津市と7県市で実施しています。今回、経営者団体としては全国で初めて岐阜県経営者協会さんが企業子宝率の調査をしてくださいました。非常に画期的なことです。

昨年、安倍晋三首相が発表した政策「新3本の矢」の中で、「希望出生率1・8」が掲げられました。「希望出生率」とは「国民の希望がかなった場合の出生率」であり、既婚率や未婚率に、予定・理想とする子どもの数をそれぞれ掛け合わせて1・8と算出しています。

そもそも私が提案してきた企業子宝率と希望出生率は算出方法が異なるので、厳密には比較できるものではありません。しかし、いずれも「合計特殊出生率＝1人の女性が生涯に産むと見込まれる子どもの数」を参考にして、社員あるいは国民が生涯に持つ子どもの数という点では共通要素もあります。

#### V 岐阜県経営者協会の企業の特色や傾向について（渥美由喜氏より）

岐阜県経営者協会さんの企業子宝率は最高値1・94の企業があるなど、全国的にみても子育てしやすい職場環境を実現している企業が沢山あります。これは、生活環境も良く、職育近接で子育てしやすい岐阜県ならではの利便性があるためだと考えられます。

##### ◎岐阜県企業子宝率上位企業の取り組みについて

上記企業には、先進的な取り組みをなさっているケースが多数みられました。仕事と子育てを両立しやすい先進企業に共通する要素を、私は4つのCと言っています。

- ① コミュニケーションが円滑：個人ニーズや職場の改善点を言い合い、実践する雰囲気
- ② コラボレーション（協働）：出産、育児期にお互いに助け合う体制
- ③ チャレンジ（挑戦）：男女ともに、ワークとライフに挑戦する姿勢。女性一人で子育てするのではなく、夫と二人でシェアすることによって、女性のキャリア形成を阻害しないという取組が必要。女性はワークにチャレンジする、男性はライフにチャレンジするという風土を作るべき。
- ④ キャリア・デザイン：中長期的に、そして20代のできるだけ早い時期からキャリアデザインを一人ひとりが描く。そのような将来のことを考える場づくりを進めていく必要がある。

これらの点について、上位企業はよく工夫されているのですが、これらに加えて「コントリビューション（地域貢献）」「コモンセンス（常識・良識）」「チャイルドフレンドリー（子どもに優しい）」といった

C に関しても、素晴らしい取り組み、姿勢がみられました。

しばしば、中小企業は社員数が少なく、代替人員を確保できないので、ワークライフバランスは難しいといわれますが、今回の上位企業の一つひとつの取組は、おそらく他企業でも真似できるところがたくさんあります。

また、男性の育児参加は非常に大きなテーマです。女性はワークにチャレンジ、男子はライフにチャレンジという点が、次に来る課題だと思います。女性一人で子育てするのではなく、夫と二人でシェアすることによって、女性のキャリア形成を阻害しないという取り組みが必要です。こういった部分にも踏み出していきたいと思います。

ぜひ、今回の上位企業の取組を見本として、岐阜県内の多くの企業がワークライフバランスや女性活躍の推進に取り組まれることを心から祈念しております。

一般社団法人岐阜県経営者協会 会員企業の子宝率状況 【業種別・規模別・地域別・男女別】

		回答 会社	企業子宝率			
			全体	男性	女性	
全業種		108 社	1.31	1.38	1.04	
製造業		54 社	1.28	1.34	1.02	
業 種 別	一般・精密、電気、輸送用機器	14 社	1.41	1.45	1.08	
	鉄鋼、金属製品、非鉄金属	7 社	1.25	1.27	1.24	
	化学工業	4 社	1.27	1.29	0.99	
	窯業・土石製品	6 社	1.32	1.35	1.24	
	食料品	3 社	1.30	1.19	1.46	
	印刷・同関連	7 社	1.25	1.37	0.78	
	その他製造業	13 社	1.23	1.28	1.07	
非製造業		54 社	1.34	1.42	1.05	
業 種 別	卸売業、小売業	13 社	1.23	1.28	1.07	
	運輸業、郵便	4 社	1.15	1.24	0.43	
	建設業	11 社	1.54	1.61	0.66	
	その他非製造業	26 社	1.36	1.46	1.11	
全 業 種	規 模 別	50 人未満	33 社	1.20	1.19	1.18
		50～99 人	24 社	1.22	1.28	1.02
		100～299 人	36 社	1.25	1.36	0.74
		300～999 人	12 社	1.23	1.27	1.13
		1,000 人以上	3 社	1.51	1.55	1.28
	地 域 別	岐阜	52 社	1.30	1.38	0.86
		西濃	27 社	1.26	1.32	1.08
		中濃	11 社	1.41	1.45	1.25
		東濃	10 社	1.27	1.39	1.08
		飛騨	8 社	1.24	1.31	0.95